

1. 評価報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	1950880045
法人名	医療法人 千歳会
事業所名	グループホーム甲西
所在地	〒 400-0402 電話番号 055-280-8700

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	山梨県甲府市北新1丁目2-12号		
訪問調査日	平成20年10月28日	評価確定日	平成20年11月17日

【情報提供票より】平成20年10月7日 事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年8月17日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8	人
職員数	9人	常勤	7人	非常勤 2人 常勤換算 8.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り			
	3	階建ての	1	～ 0 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無			
食材料費	朝食	0 円	昼食	0 円
	夕食	0 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1500 円			

(4) 利用者の概要 平成20年10月7日 現在

利用者人数	7 名	男性	1 名	女性	6 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	71 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	巨摩共立病院 内藤歯科医院 高原病院 淡路歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】作成日 平成20年11月6日

遠方に雄大な富士山、手前には楡形山や八ヶ岳連峰が眺められる。施設の周辺は田畑があり、自然の移り変わりが満喫できる。敷地が広く、災害時には避難場所に指定され、住民に知れ渡る高齢者の施設である。医療法人でケアセンター、デイサービス、リハビリテーション、グループホームが併設されている。職員数も多く、利用者の支援、介護、介助にも担当者が責任をもち、ゆとりある行動で、おおらかな心で接する態度が、お互いの笑顔で感じられる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	朝の挨拶の時に、去年の改善シートが渡され、改善した説明を受けた。 1. 昼食を利用者と介護者が、楽しみながら共に頂く。早番のスタッフも時間をずらし、全員で揃い、会話をしながら食べるように改善した。 2. 入浴時間の件は、利用者の希望を聞き、利用者本位の時間に、入浴するように改善した。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	① スタッフと管理者で話し合い、まとめは管理者がした。外部評価を実施することで、見えない点が見えたりする。情報を受け入れる体制が、さらなる施設の質の向上に繋がると、前向きな姿勢が伺える。
	② 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) この地域は、包括支援センターが、しっかりしている。運営推進会議にも参加、情報を提供してくれる。地域の役員、家族の役員、行政担当者などで運営推進会議などを行う。地域の最大イベントの夏祭りは、500人以上の参加があり、委員の協力が欠かせない。
重点項目③	③ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の面会が多く、来た時に近況を報告したり、不安はないか気軽に担当者が聞くように努めている。また、ケアセンターの入り口に苦情処理箱が置かれ、言いにくい意見を書けるようにしてある。
	④ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日中は施設していないので、徘徊をする利用者は外出してしまう。散歩などで顔見知りの人もいるが、離れての見守りが難しい。農作業をしている人は野菜を分けてくれたり、心やすくしてくれる。お祭りは、大勢の住民と接し、楽しい時間を共有している。ボランティアの訪問も楽しみにしている。

2. 調査報告書

事業所名：グループホーム甲西

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	なるべく利用者の希望にそえるような介助を心掛けている。近所の方々との交流も多く、「背伸びをしない」を理念とし、明るく楽しい共同体家族のような雰囲気築いている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を忘れないように解りやすい場所に掲示してある。月1回のミーティングには、スタッフ全員で話し合い、確認しあうように努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅地の中心地にある施設で広い駐車場は、地域の避難場所にも指定されている。各行事、お祭りなどの開催場所で、大勢の人々が集まり交流する。ボランティアの方の出入りもあり、利用者は、趣味をいかしたり楽しみ事が多い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価をすることで、サービスと質の向上が図れる。気付かない点が見えたり、外の風をいれることで新鮮な気持ちになり、仕事に励むこともできる。外部評価での改善点は、スタッフ全員で話し合い、取組を強化し、よりよい施設としての向上を図る。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センター、民生委員、人権擁護委員、利用者の家族などで定期的に運営推進会議を開催し、外部評価の結果を伝え、意見を聞いたり、改善点を話し合っている。その結果、地域の協力で、夏祭りに集まる人は500人以上になる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者とは、運営推進会議時や、それ以外の時にも接点を持ち、相談したり、アドバイスを受けていたりしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者は担当スタッフが決まっている。担当者は毎月、家族にお便りを出している。近況報告、金銭の支出(領収書コピーを貼り付け)など細かく記入して郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年末には、利用者の家族とスタッフの話し合いがある。ケアホームに支払い窓口があり、苦情処理箱が設置してある。面会に来た時に、気づいたことや希望を気軽に話せるよう配慮している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ケアホームからグループホームへ等、法人内の異動がある。マナー化防止や年齢差など考慮した配置換えがある。利用者が不安を感じるような異動はない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内の学習会は、交代で全員が受講している。月1回の勉強会も実施している。施設部会の研修会は、順番で参加してレポートを提出し、ミーティングの時に発表し、学んだことを共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の会議や、研修会に参加している。同業者との触れ合いは、悩みなどの共通点があり、良い点を見習い、教えあって切磋琢磨につとめている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居する手順として、家族と利用者が納得した上で面接を行う。希望があれば、併設のケアホームで2泊3日の体験入居ができる。そこで、共同生活が安心して出来るかどうか確認して、雰囲気に馴染めるようなら手続きに入る。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、利用者と生活を共にすることで、人生の先輩として作業や心使いなど、見習う点がたくさんある。こうしたら、こうなるという体験を教えてくれる。掃除、植木、裁縫、書道など見事な手さばきに感動をうけて成長の糧にしている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	人は、それぞれ個性や癖をもっている。その人の気持ちを把握して、ニーズに近づくような介助につとめている。農作業の好きな人は、土にふれ、昔の作業を思い出すような、記憶の誘導などもしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、センター方式で行っている。月1回の介護計画書の見直しを担当者と管理者で行う。家族の希望も聞き入れ、スタッフ同士が細かい情報交換をしながら、利用者本意の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しは、3か月に1回行う。健康状態に急な変化が生じた場合は、その都度、担当者や管理者、スタッフ全員で検討し、見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の各施設には、手助してくれる職員がいて(応援体制)外出の時など協力し、手伝ってくれる。家族が病院に付き添えない時は、スタッフが快く対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近所に甲西クリニックがあり、往診や定期健診をしている。かかりつけ医の受診もスタッフが付き添い受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	介護老人保健施設ケアホームがあり、医師、看護師が家族の相談にのってくれる。命の重みをスタッフ、家族みんなで共有し、より良い終末期のあり方を検討している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	書道の好きな利用者は、自分の机に向かい練習に励んでいた。庭木の手入れをする人、昼寝をしたり、自由に自分の時間を過ごしていた。スタッフも、そっと手を添えるような寄り添い介助の優しさを感じた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	徘徊したい利用者が外に出ても、スタッフは黙って後を追って安全を確認し、自然に歩き話かける。排便など、繰り返しWCに入る利用者も本人本意の行動を静かに見守っていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	早番のスタッフも時間を合わせて、全員で楽しく昼食を取っている。外食でお寿司、ラーメン、ハンバーガーなど食べに行くこともある。シチューやホットケーキづくりなど、みんなで作る楽しみもある。後片付けや洗い物は、利用者のできる人が進んで行っていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者がお風呂に入りたいかどうか、時間帯の希望などを聞いて、対応するように改善した。備え付けの浴槽が大きく階段になっている。2, 3人で行入るのであればいいが、普通より大きくスタッフの支援が大変のように感じた。	○	入浴介助は大変なので、安全で利用者が楽に出入りできるような浴槽改善に期待したい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は、得意分野をいかした生活をしている。書道は、大会に出展し賞を頂く方もいる。庭木を手入れする利用者も、花を分けてやる配慮など、思いやりを感じた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	春のお花見、散歩、などが外出する機会を増やした。考古博物館の見学は、少し難しいと考えていたが、展示物、説明書きを理解して、熱心に勉強する利用者に驚いた。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関に施錠をしていない。2重扉になっていて、ドアが開くと小鳥の鳴き声が聞こえるようになっている。利用者が外に出たことが分かると、職員が後を追いつき、安全を確認している。利用者一人で建物外に出た場合は、職員が気づき、後から付いていても、「事故報告」扱いとなっている。	○	難しい課題だが、もっと広い視野での、おおらかな見守りに期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設全体で、年2回の合同避難訓練を実施している。避難時は、近所の方の応援が必要なので協力者の連絡網がある。ここ独自の避難ルートやベルで召集する練習もしている。防災頭巾の用意もある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	高齢者は、脱水症状になりやすいので、水分チェックに気をつけている。栄養摂取量も確認しながら記録している。嚥下防止で細かく刻んだり、利用者の健康状況にあわせた配慮をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	盆地特有の景色、窓から眺める山々の稜線。柿の色、紅葉、四季の変化を感じての生活。広々としたゆとりある空間で、共に思いやり笑顔で過ごすひととき。フローアには、作品が展示され、利用者の楽しそうな写真がはられている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	天皇陛下のカレンダーをはり書道に精を出す人。孫や家族の写真を壁に貼る人。自分独自の部屋で、居心地良さそうに、ゆったりとくつろぐ様子が伺えた。		